授業科目	アジア観光文化地理 Ⅰ					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	劉　明						
授業概要	地球規模の大交流時代の到来により、アジアの国と地域を中心に訪日外国旅行者が大幅に増加されている。「アジア観光文化地理Ⅰ」では、学生たちに東アジア諸国の地域性や風土人情及び観光資源を認識・理解してもらうことを目標に、授業を進める。 また、海外旅行を通して観光文化地理を研究したいという学生のニーズにより、海外（アジア）旅行の情報提供や調査方法の指導も行う。さらに、グループディスカッションで学生同士の交流を行う。						
授業形態	講義			授業方法	グループディスカッションを通して東アジア諸国の観光資源を認識する。		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	１．東アジア諸国の地域性や風土人情を把握することができる。 ２．東アジア諸国の観光資源を認識することができる。 ３．海外（アジア）旅行の情報を把握することができる。 ４．海外での観光文化地理の調査方法を把握することができる。 示されている４つの到達目標を達成するすることができる。
理想的レベル	示されている４つの到達目標を達成することができると同時に、習得した知識を研究や観光フィールドワークに反映させることができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	50%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	30%	
レポート外の提出物		
その他	20%	意見を発言してくれたり、積極的に質問・提案をしてくれたり、といったことが評価されます。

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	T021808J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）

予習・復習	4

授業計画	
第 1 回	オリエンテーション シラバスの内容、講義の進め方、受講上の注意を説明する。
第 2 回	テーマ：中国の観光文化地理 中国の地域性・風土等を学ぶ
第 3 回	テーマ：中国の観光文化地理 中国の観光文化等を学ぶ
第 4 回	テーマ：中国の観光文化地理 中国の観光資源等を学ぶ
第 5 回	テーマ：グループディスカッション・発表 中国の観光文化地理について、グループディスカッションで学生同士の交流を行う。
第 6 回	テーマ：台湾の観光文化地理 台湾の地域性・風土等を学ぶ
第 7 回	テーマ：台湾の観光文化地理 台湾の観光文化・観光資源等を学ぶ
第 8 回	テーマ：グループディスカッション・発表 台湾の観光文化地理について、グループディスカッションで学生同士の交流を行う。
第 9 回	テーマ：香港の観光文化地理 香港の地域性・風土・観光資源等を学ぶ
第 10 回	テーマ：マカオの観光文化地理 マカオの地域性・風土・観光資等 を学ぶ
第 11 回	テーマ：グループディスカッション・発表 香港・マカオの観光文化地理について、グループディスカッションで学生同士の交流を行う。
第 12 回	テーマ：韓国の観光文化地理 韓国の地域性・風土等を学ぶ
第 13 回	テーマ：韓国の観光文化地理 韓国の観光文化・観光資源等を学ぶ
第 14 回	テーマ：グループディスカッション・発表 韓国の観光文化地理について、グループディスカッションで学生同士の交流を行う。
第 15 回	総括
テキスト	資料を配布する
参考図書・教材／データベース・	『旅行業実務シリーズ 海外観光資源』（株）ＪＴＢ総合研究所編集発行

雑誌等の紹介	
課題に対するフィードバックの方法	「成績講評」を提示する。
学生へのメッセージ・コメント	「アジア観光文化地理Ⅰ」を学ぶ意義を理解しておくこと。 ①アジアの国・地域に関する新聞記事をよく読むこと。 ②留学生との交流に励むこと。 ③少しでも長く勉強を続けること。 ④よく質問すること。